

次号予告

2018年4月号

特集

死を前にした人に私たちが できること

多死社会を迎え、住み慣れた自宅や介護施設で、人生の最終段階を迎えた人と誠実に関わることが求められています。単なる励ましを通じない看取りの現場にあって、一部のエキスパートだけでなく、関わるすべての人が「自分がその人に何ができるか」ということを言葉にし、実践するためには何が必要なのでしょう？

本特集では、書籍『死を前にした人にあなたは何かができますか？』（医学書院、2017）で取り上げられている「苦しむ人への援助と5つの課題」をもとに具体的な関わり方を解説し、その関わり方を使って、実際の事例で実践者たちが何をどのように行なったのかを紹介します。また、現場での看取りに対する苦手意識が、この援助方法を学んだことでどのように変わったのかについて、座談会を通して語っていただきます。

【座談会】苦しむ人にどう向き合うか

看取りに苦手意識をもっていた私たちが、

それでも関わり続けられる理由

●津野采子・高橋美保・相田里香 [司会]小澤竹俊

死を前にした人にあなたは何かができますか？

●小澤竹俊

【死を前にした人に私たちができること】

小児がん終末期の男児と家族の事例●白山宏人

未治療ALSの妻と夫の事例●相田里香

終末期にあることを受け入れられなかった事例

●結城光

重度の認知症の女性が、最期の2週間を家族と

過ごされた事例●津野采子

※一部変更となることがあります。

編集後記

藤沢病院に伺った際、私も伊藤恒子さんのフットケアを体験しました。履いている革靴が原因でできた(?)魚の目、肥厚した爪へのケアに加え、マッサージまで。一連のケアは満足度が高く、ケア中に披露される皆さんの話術に心のコリもほぐされます。「フットケアは、心温まる“ホットケア”なんだ」という三浦和子さんの言葉に納得の取材となりました。

●取材を終えると、帰りはすっかり夜。岩手県一関の路面は雪こそなかったものの、そこかしこで凍結しています。慣れぬ冬の峠道のドライブはヒヤヒヤもの。この日、取材から帰り道まで、ドキドキしっぱなしの1日となりました。…小池

人とおしゃべりしていると、「課題」として意識化される前にそれが解消され、同時にようやくそれが課題だったと気づく」という体験をします。Co-Minkanプロジェクトの取材をして、「あの体験はこれだったのか!」と思いました。●「可能性志向型」の支援といえば、グラミン銀行などのマイクロファイナンスやビル・ゲイツの養鶏業支援などを思い出しますが、よく考えれば「その人のもつ可能性や力を引き出す」というのはまさに在宅看護ですよ。まちづくりと在宅看護の新しい接点をまた1つ見つけた気がします。…栗原

訪問看護と介護 第23巻 第3号（通巻261号） 2018年3月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2017, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税 年間購読料（税抜、送料弊社負担、年間12冊）：12,600円（冊子版）／

15,600円（冊子＋電子版／個人）／12,600円（電子版／個人）

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・栗原・横田・早田

✉houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

【JCOPY】《出版者著作権管理機構委託出版物》

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構

（☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、✉info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は、株式会社医学書院の登録商標です。